

○馬術部

馬術部は、近畿大会での優秀な成績により、4年ぶりの全国大会出場を果たしました。

私は、県大会での戦いぶりを見させてもらいました。言葉の通じない馬に乗り、その馬を右に左に自在に曲がらせ、歩かせたり走らせたり、跳躍させたり、静止させたり。本当に驚きました。手綱さばきだけでなく、膝で馬の背中を挟んで絞める強さを変えるなどして、馬の動きを制御していくのだそうです。

繊細な競技ながら、人馬一体となったときは、とても颯爽としていました。そして見事な優勝を果たしました。

○かるた部

かるた部は、団体戦では初めての全国大会出場です。

私は、全国大会出場を決めた試合を見させてもらいました。記憶力と瞬発力が必要な種目です。静と動の緊張感。選手全員が最後の最後まで諦めずに戦い抜いた結果の勝利でした。見事だったと思います。「かるたがしたくて神戸高校に入った。」と言ってくれた生徒がいました。こういう結果を出してくれて、本当にうれしく思います。

どちらの部も、本番では、相当の緊張感に襲われるでしょう。そのとき、是非、これまで取り組んできた練習を思い出し、そしてまた、この壮行会の神高の生徒と職員全員の応援と同窓会の方々の激励を思い浮かべ、深呼吸をしてから、「わたしには凄い応援団がいる。わたしはできる！」でもいい、「I can do it!」でもいい。自分に言い聞かせてください。

それぞれのベストを出して、思い描いている結果を出してくれることを期待しています。応援しています。頑張ってください。